

同朋学園 令和5年度 事業計画（案）

養護理念

同朋福祉会創立者、江川義清の「人は大切 子は宝」の理念のもと、家庭で養育することの出来ない児童を保護する中で、人間尊重と子ども第一主義を目指して児童の最善の利益を追求し、積極的に福祉の増進を図ります。

処遇信条

子どもたちの抱えている個人的・社会的困難を共に担い、心豊かで健やかな成長を見守り、社会的な自立を援助し続ける処遇を目指しながら、子どもたちを取り囲む私たち大人も、子どもたちを通して共に成長していくことを信条とします。

目 標

1) 社会貢献

- ・地域清掃の実践（子どもと一緒に毎月1回・職員のみは年11回）
- ・地域活動への参加（自治会による地域清掃年2回・全教一斉ひのきしんデー年1回・五毛天神子ども神輿・みのおかまつり手伝い・児童館夏祭り手伝い）
- ・地域支援（子育て相談・ヨガや会議等の会場提供）
- ・福祉職員の育成（宿泊実習生の積極的受け入れ・学生アルバイトの受け入れ等）

2) 子ども支援

- ・グループホームやユニットでの生活で家庭体験を増やす
- ・子どもが主体的に運営する行事（運動会など）
- ・子ども対象の研修会（サイバー講習・性（生）教育・No Hit Zone 教育）
- ・学習支援（学習塾の活用、図書コーナーの充実）

3) 社会的、家庭的養護推進に向けて職員の資質向上を目指す

- ・子どもの権利擁護チェックリスト（全養協）による自己点検
- ・ケースカンファレンス（年11回）
- ・講習会、研修会の実施（障がい児研修・性（生）教育等）
- ・調理作業の向上

4) 「ようこそ」「さきに」「ありがとう」の実践

「ようこそ」 → 学園に来られた方すべてに“ようこそ”の思いを持って接する

「さきに」 → 日常のあいさつは自分から“さきに”行う

「ありがとう」 → どんなことから学びがあることを知り、“ありがとう”の思いを持つ

1 施設運営

(1) 児童の処遇

ア 児童数

幼 児	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子	高校男子	高校女子	その他	合 計
2	13	2	4	3	7	7	1	39

《在籍児童数（過去5年間）》

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間 合計	暫定 定員
30年度	37	37	35	34	33	33	33	33	33	33	33	33	407	43
元年度	31	33	31	30	30	31	31	31	31	32	32	32	375	43
2年度	40	40	40	39	38	38	37	37	37	39	40	39	464	42
3年度	40	40	40	39	38	38	39	37	39	39	39	40	468	44
4年度	42	42	42	42	42	42	42	42	41	40	41	41	499	44

※30年度、元年度年間合計の減少は建て替え工事による入所制限実施のため。

イ 心理療法・・・春海淳子・山本 梓・山本結子

○ 毎週月～金曜日 15:00～19:00

○ 予定数 15名

ウ 健康管理

○ 園児健康診断 年2回

○ 身体測定（月1回 身長、体重）

エ 年齢別目標

幼 児

- 基本的生活習慣を身につける。
（朝起き・挨拶・身辺整理・食事マナー・規則を守る・礼儀など）
- 子どもの思いを受容し、信頼関係を深める。
- 友達と一緒に遊ぶことの楽しさを知る。
- こども園等へ通い、いろいろな人とコミュニケーションをとる。

小学生

- 基本的生活習慣を身につける。
（朝起き・挨拶・身辺整理・食事マナー・基礎学力・規則を守る・礼儀など）
- 毎日学校へ登校する
- 戸外遊びで健康な身体をつくとともに、遊びを通してルールを学ぶ。
- 自分の気持ちを言葉で伝え、人の話をきちんと聞く。
- 行事を心から楽しむ。
- 感謝の気持ちを育む。

中・高生～

- 基本的な生活習慣を身につける。
(朝起き・挨拶・身辺整理・食事マナー・基礎学力・規則を守る・礼儀・掃除など)
- 日々の生活、行事を通して社会経験を積み、自立するための準備期間を意識して生活する。
- 自己分析できる力を身につけ、自尊心や自信につなげる。
- 自分の考え、意見を言葉で表現し、他の人に伝える力を身につける。
- 人に流されず自分で正しい判断ができる力を身につける。
- 性や通信機器（SNS 等）について正しい知識を身につける。

オ 年間行事

	園内行事	連盟・招待行事
4 月	入進学お祝い会	いちご狩り招待・春の子ども会
5 月		連盟行事（ハイキング、幼児レクレーション）・五毛天神祭
6 月	総合防災訓練	連盟行事（近畿フットサル大会、卓球大会）
7 月	キャンプ・鼓笛合宿	海釣り招待
8 月	韓国施設交流	連盟行事（バレーボール大会）
9 月	お月見会	
10 月		栗拾い招待
11 月	七五三祝い	連盟行事（フットサル大会）
12 月	クリスマス会・ボウリング大会	
1 月	ゲーム大会	
2 月	園内運動会・御礼団参	連盟行事（グリーンカップ）
3 月	門出式・鼓笛合宿	連盟行事（スキー大会）
月例行事	誕生日会・地域清掃（毎月 1 回）	

カ 栄養管理

- 集団給食施設栄養報告 年 2 回（保健所に提出）
- 給食供給者としての諸管理
- 食中毒、安全管理

キ 安全管理

- 防火管理者講習会（年 1 回）
- 火災通報設備設置・避難訓練の実施
- 県警ホットライン通報設置・不審者訓練の実施
- オートロック及びモニターの設置
- A E D の設置
- 防犯カメラの設置

ク 苦情解決制度

- 苦情解決責任者 園 長
- 苦情受付担当者 各 担 当 者

- 第三者委員 佐 藤 敏 充（佐藤敏充税理士事務所）
 上 杉 徹（神戸真生塾 施設長）

ケ 関係機関との連携

（子ども家庭センターとの関係）

- 入所児童の処遇について、ケースワーカー、心理判定員等と緊密な連絡をとり、通所等で処遇の改善を行い、保護者を含めた児童の健全育成に努力する。
 （子ども家庭センタ心理士・学園処遇担当者との情報共有会議年3回程度）
- 子ども家庭センターとの連絡を密にして、入所の充足に努める。
- 必要に応じたケースカンファレンスの実施（センター・学園・学校・保護者等）

（学校との関係）

- 保、小、中、高校との連絡を密にし、施設での定期懇談会等を通じ、児童にとってより適切な学習や生活指導が行えるようにする。
- 中学校の学習指導については特に強化を図り、高校進学率が向上する事を目指す。
- 高校生においては学校との連絡を密にし、学習、生活面での指導を通じて、学力の向上と社会人としての自主性、自立心の向上を図る。同時に高校中退をなくす。
- 大学、専門学校においては学校との関係は本人が自主的に行動し、卒業・就職に至るような本人支援を行う。

（専門機関との連携）

- 医療機関
- 福祉関係（養護施設、乳児院等の施設・障害関係等）

（２）職員の処遇

ア 職員構成

	施設長	児童指導員 保 育 士	栄養士	事務員	調理員等	嘱託医	その他 (心理・宿直)	合 計
正規職員	1	25	2	1	1			30
常 勤		2			3			5
非常勤		2				1	5	8
合 計	1	29	2	1	4	1	5	43

*地域小規模グループケア

	児童指導員・保育士			合 計
	正規職員	常勤	非常勤	
北町ホーム	5		1	6
中町ホーム	4	1	1	6
みつばホーム	3	1		4
さくらホーム	3	1		4
あおばホーム	5			5
つくしホーム	3	1		4
フリー	2	0		2
合 計	25	4	2	31

イ 健康管理

- 健康診断 年1回、但し宿直者は年2回（予防医学協会）
- 検便検査 調理担当者・保育士・指導員 月1回（6月～10月は月2回）

ウ 会議

- 職員会議 毎月1回（給食会議を含む）・・・全職員参加
- ケースカンファレンス 年11回・・・全職員、心理
- 緊急会議
- 食育会議

エ 研修計画

- 近畿児童養護施設研修（中堅職員以上対象）
- 市社協新任研修（新任職員対象）
- 全国児童養護施設長研修（施設長対象）
- 給食者研修（給食担当者対象）
- 西日本児童養護施設職員研修（中堅職員以上対象）
- 天理教社会福祉施設連盟研修
- 発達障がい研修（全職員対象）
- コミュニケーション研修（全職員対象）
- コンプライアンス研修（全職員対象）
- 虐待防止研修（全職員対象）
- 性教育研修（全職員対象）

オ 退職・福利厚生

- 独立行政法人医療福祉機構加入
- 民間社会福祉施設職員退職手当共済事業加入

2 施設管理

（1）事務関係

ア 会計事務、管理事務

- 経理事務全般
- 運営費及び補助金申請に関わる事務全般
- 接客事務全般

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

- 各種書類の作成、記録、管理

（2）設備関係

ア 危険箇所の有無確認

- 建物、電気、水道、ガス（毎日）

- イ 修繕予定
なし

(3) 備品関係

- ア 備品購入予定
なし
- イ 給食用品購入予定
なし
- ウ 固定資産物品購入予定
なし

(4) 災害対策

- ア 避難訓練
 - 避難・消火訓練（月１回）
 - 灘消防署による総合防災教育（年２回 内１回は自主総合防災訓練）
 - 地震に対する訓練（年１回）
 - 不審者に対する訓練（年１回）
 - 土砂災害に対する訓練（年１回）

- イ 防災設備の点検委託
 - 東報サービス株式会社（年２回）

ウ 非常食糧の備蓄（約３日分）・・・１月１５日現在

- | | | | | |
|--------------|----------|-----|----------|------|
| ○ アルファ米 １５０Ｐ | ○ 缶詰パン | ４８缶 | ○ 飲料水 | ３００ℓ |
| ○ カップ麺 ７２食 | ○ ドライカレー | ６０食 | ○ みかんの缶詰 | ２４缶 |
| ○ シーチキン ４８缶 | ○ おでん | ７４袋 | ○ 缶入パン | ７２缶 |

3 地域社会との連携

- 保育園、小中学校、高校、警察、サポートセンターとの協力体制
- 児童館、地域福祉センター行事の参加、協力
- 各大学、専門学校、短期大学等からの実習生の受け入れ
- ボランティアの受け入れ
- 会場の提供（ヨガ教室、自治会）
- 物品の貸し出し
- 地域清掃（毎月第３日曜日は児童・職員で実施＋職員会議時に職員のみで実施）

4 地域支援

- 子育て相談：随時
- 子育て支援（リフレッシュ）事業：随時